

たいししょうしんぶん 大正小新聞

学校概要



【学校名】鳥取市立大正小学校
 【所在地】鳥取市古海29-1番地3
 【校長名】奥谷健史
 【児童数】188人



【沿革】(主なもの)
 1873(明治6)年6月 古海村50番地に、民家を買入れ開校
 1931(昭和6)年4月 大正尋常高等小学校と改称
 37(昭和12)年3月 古海村三百長1292番地に校舎新築移転
 43(昭和18)年9月 大震災により全校舎倒壊
 73(昭和48)年6月 創立100周年記念式挙行
 79(昭和54)年3月 新校舎竣工
 91(平成3)年10月 学校給食優良校 文部大臣表彰
 2012(平成24)年9月 学校梨園整備、梨初収穫
 21(令和3)年11月 租税教室推進校として表彰



初めての米作り思い込め

大正小学校では、総合的な学習の時間の活動として、5年生が学校のとりにある田んぼで米作りを行っている。

田植え

2022年は6月14日に田植えを行い、保護者や地域の方に教わりながら、学級のみならず、列に並んで、苗を一つずつ植えていった。

初めは慣れない作業にとまどっていたが、だんだんと慣れてきて、どの辺りにどのくらいの量の苗を植えればよいか分かるようになった。

一面の田んぼに田植えをするだけでなく、たくさんの人手と時間がかかることを体験し、米作りをする人たちの苦労や大変さについて知ることができた。

秋の収穫の日を迎えるまで、稲の成長の観察や田んぼの草取りなど、自分たちができることに取り組んで、大切に育てていった。(北川葉琉、山本彩花)



米作りの最初は皆で田植え。一列に並んで作業



丁寧に刈り取った稲は束ねて乾燥へ

稲刈り

2022年10月19日は、待ちに待った稲刈りの日。この日までに、田んぼに生えた雑草を取って、稲がよく育つように活動してきた。

初めは、稲を刈る役と、刈った稲を束にする役とに分かれ、交代しながら活動した。稲を刈る役の人には、カマを持って田んぼに入り、ひとにぎり分ずつの稲を刈った。手を切らないように気をつけながら、慎重に作業を続けた。それを束ねる役の人が、ひもでくくってまとめていった。

すべての稲を束ねたら、乾燥させるために「はさがけ」をした。稲の束を何段にも重ねながら「はさがけ」をしたが、学校のフェンスも使わないといけないほど、たくさんの稲を収穫することができた。

稲刈りは大変な作業だと思っていたが、実際にやってみると、楽しさも感じた。(楠原向葵、松下利央、矢部和空、山縣征矢)

慎重に作業し大収穫

収穫した米を販売する児童

脱穀、袋詰め、販売 私たちの米アピール



2022年11月に入る、脱穀と袋詰めに取り組み、脱穀は、「はさがけ」に手を挟まないように慎重に作業した。脱穀した米は、お世話をしてくだ

さっている西根さんが精米した。精米した米は、PTAや公民館の方に協力してもらい販売するために、みんなで袋詰めした。まず、自分たちでいろいろなイラストを考えて袋に張り付け、次に精米した米を25kgずつ袋に入れていった。

そして、12月19日に保護者や先生方、公民館の皆さんに販売した。自分たちで作った米をアピールするチラシを作って配った。食べていただいた方からは「おいしかったよ」という感想をいただきました。(石田莉優、高田依奈、前田祥穂)

自然の中で実体験

船上少年 宿泊学習、みんなで協力



協力しながらカレー作りに取り組む児童ら

自然の大切さを知り、その経験などを実施した。

を日常の生活に生かすため、2022年6月30日から1泊2日で、琴浦町山川の船上少年自然の家で初めての宿泊学習に取り組んだ。

1日目は船上山に登る予定だったが、熱中症警報が発令されたために、登山をすることができなくなった。そこで、指導員さんに教わりながら、レクリエーションやクラフト体験、カロリーンクやボッチャといったニュースポーツ

2日目は野外炊飯でカレー作りを体験。まきを組んで火を着けるのは初めての経験だったが、自然の中で自分たちだけで作ったカレーのおいしさは格別。友達と協力することの大切さを実感した2日間だった。(加路柚那、坂本皇、酒本陽仁)

来年度の1年生のために 就学時健診お手伝い

就学時健診が2022年11月9日、校内であった。遠足で全校のために活動した5年生が、今度は来年度入学する1年生の健康診断のお世話をした。5年生の仕事は、それぞれの検査場所での補助や園児引率だった。自分たちは、園児引率を担当。初めはとても緊張していたが、班のみんながきちんと話を聞いてくれたので、スムーズに案内することができた。



健診のために補助する児童

検査が終わった後は、子どもたちに読み聞かせをしたり、一緒に折り紙を折ったりして過ごした。折り紙や事前に書いていたイラストをプレゼントすると、「ありがとう」と言ってくれ、とても喜んでくれた。

来年度、新1年生として入学したときにも、6年生として明るく優しく接して、安心して学校生活を送ってもらえるように、精いっぱい頑張る。(池内暖斗、坂本菜南、田辺実夢)

触れ合い深めた全校遠足

5年生が遊びをリード



5年生がリードし楽しんだ「じゃんけん列車」

全校遠足が2022年10月4日、行われた。新型コロナ禍の影響で、全校が鳥取市布勢の布勢運動公園に行くのは3年ぶりとなった。

遠足では、5年生が初めて全校遊びをリードする役割を担った。自分たちが選んだ遊びは「じゃんけん列車」で、司会進行や列の先頭を案内する係など、自分たちで考えた役割をもとに遊ぶことができたので、とても喜びを進んでいった。初めは、うまく進行できずかたが心配だったが、5年生がリードする姿を見て、みんなも楽しんでくれた。6年生をお弁当を食べたりした。6年生を中心に遊んだり、みんなでお弁当を食べたりした。6年生がみんなをリードする姿を見て、「さすが最高学年だ」と実感。おかげでどの班も楽しんで遊ぶことができた。

全校のみんなが協力して活動することができたので、とても喜びを進んでいった。初めは、うまく進行できずかたが心配だったが、5年生がリードする姿を見て、みんなも楽しんでくれた。6年生をお弁当を食べたりした。6年生がみんなをリードする姿を見て、「さすが最高学年だ」と実感。おかげでどの班も楽しんで遊ぶことができた。

全校のみんなが協力して活動することができたので、とても喜びを進んでいった。初めは、うまく進行できずかたが心配だったが、5年生がリードする姿を見て、みんなも楽しんでくれた。6年生をお弁当を食べたりした。6年生がみんなをリードする姿を見て、「さすが最高学年だ」と実感。おかげでどの班も楽しんで遊ぶことができた。

学んだSDGs伝える

学習発表会 合奏も堂々と



発表テーマに合わせた曲を披露する児童

2022年11月26日は、今年度自分たちが学んだことを発表する日だった。本日は保護者や地域の方に見ていただく予定だったが、新型コロナの影響で、発表をビデオ録画して配信することになった。

5年生は「SDGsを伝えよう」をテーマに、発表や音楽を通して思いを伝えた。環境やエネルギー、食品ロスの問題など、学校の学習だけでなく、社会見学や米作りなどの実体験を通して学んだことを、見てくださる方々に伝えるように発表した。発表の最後には、発表テーマに合った曲としてみんなで選んだ「ひまわりの約束」を合奏した。

SDGsの17の目標は、30年までに達成することとされている。みんなが少しずつでも目標に向かって努力していけば、きっと達成できるということが伝えられた。(杉本皇樹、竹森郁翔、西垣那々実)

5年生が作った新聞です



SDGsの目標達成に向けて学んだ社会見学

今年度、自分たちはいろいろな学習の中で持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにして学習を進めている。その実際の取り組みを学ぶため、とっとり市民電力(鳥取市五反田町)に2022年9月13日、社会見学に出かけた。

学校で説明を聞いた後、まず秋里終末下水処理場(同市秋里)を見学した。ここはSDGsの6番の目標「安全な水とトイレを世界中に」を達成するため、さまざまな取り組みが行われていた。

その後、とっとり水素学びうむ(同市五反田町)を訪れた。ここは、SDGsの7番の目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を達成するため、これからの私たちの生活をどのように変えていくかについて学ぶことができる施設だった。

水を大切に使うことや省エネに取り組むことなど、自分たちができることがたくさん学べた。(井上文馨、谷口エナ、谷口希希)

生活どう変える SDGs達成へ 節水や省エネ学べ